

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2020年度
オンライン留学先国	メキシコ
オンライン留学先大学	グアナフアト大学
プログラム開始日	2021年1月18日
プログラム終了日	2021年6月11日
今回の留学にかかった費用	約600円（留学生用保険）
留学の目的とその達成度合	現地渡航は叶わなかったが、アカデミックなスペイン語に触れ、自身のスペイン語を向上させることを目的とした。受講終了後、特にリスニング能力が以前より向上した。客観的な達成度は分からないが、今後語学検定を受けて把握したい。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	受講科目の文化史は自分の専攻分野外だったが、議論されるテーマが新鮮で視野が広がった。美術用語に関する語彙が増え、絵画についての知識も増えた。スペイン語でレポートを書く力も身についた。
留学先大学への支払い方法	-
履修した科目	・文化史II☒ ・現代文化史
授業内容	ひとつの授業ではZoomを使用してカメラオンで行われた。中世以降の文化史について教授からの講義があり、毎回の授業で何度か質疑応答、意見交換の時間がとられた。パワーポイントを主に使用し、画像や映像を見る機会も多かった。☒ もう一方の授業はMicrosoft Teamsで行われ、基本的にカメラオフ、教授の講義中心で進められた。美術作品の説明と時代背景が主で、最終的に各学生が作品カタログを作成した。
授業の開講時間および現地時間との時差	23:00~2:00、 7:00~10:00（時差15時間）☒ 22:00~1:00、 6:00~9:00（時差14時間サマータイム）
外大の授業との両立について	外大の授業を7コマ、留学先大学の授業を2コマ（1コマ3時間）履修。留学先大学の授業が現地時間で同じ曜日に開講されたため、日本では夜中と早朝となり、睡眠時間の確保と起床が大変だった。外大のアクティブラーニング課題提出時期と留学先大学の試験期間が重なり、そのときは忙しかった。
授業内容やプログラム全体に対する感想	今まで学んだことのない分野の授業を経験できたこと、画面を通して留学先大学の学生や教授と知り合えたことは良かったが、やはり現地に行ってより深い交流ができればよかったと思う。また、自分の専攻分野についても授業がとれたらよかった。時差の問題は覚悟してしたが、予想していたより大変だった。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	-
プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10）	6
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	-
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	-